

# 中野駅周辺自転車駐車場整備計画

令和4年（2022年） 3月 改定

中 野 区

## 中野駅周辺自転車駐車場整備計画 目次

1. 目的	1
2. 自転車駐車場整備計画の基本的な考え方	2
1) 自転車駐車場整備計画の進め方	2
2) 本整備計画の期間	2
3) 自転車駐車場整備計画の位置づけ	3
4) 上位計画における自転車利用環境の方針	3
3. 放置自転車の状況及び自転車駐車場整備の対象区域	10
1) 放置自転車の対策及び自転車駐車場整備の対象区域	10
2) 放置自転車台数の推移	10
4. 過年度の自転車駐車場に係る整備及び利用の傾向	11
1) 配置及び収容台数	11
2) 利用の傾向	12
5. 将来整備台数と方面別配分	13
1) 将来整備台数	13
2) 方面別配分	13
6. 自転車駐車場の配置計画	14
1) 自転車駐車場の配置及び収容台数	14
2) 整備すべき自転車駐車場の概要	15
7. その他	17
1) 自転車駐車場の管理体制	17

---

2) 中野駅周辺自転車走行空間の整備方針	17
3) 自転車駐車場が整備されるまでの対応	17
4) 自転車シェアリングへの対応	17
5) 自転車駐車場適正利用誘導のための取り組み	17

---

## 1. 目的

中野区都市計画マスタープランや中野駅周辺まちづくりランドデザイン Ver. 3では、中野駅周辺における自転車利用の環境整備について、自転車が安全で快適に利用できる通行空間の確保、歩行者優先・公共交通指向のまちづくりと共に各交通のネットワークに配慮した自転車・自動車駐車場の適正な配置・供給を進めること等を方針として示している。

区は、このような上位計画に基づき、中野駅周辺の将来的な自転車駐車場需要を勘案した上で今後の中野駅周辺のまちづくりと整合した自転車駐車場の規模及び配置を定め、自転車利用者の安全性や利便性を確保するとともに、各地区のまちづくりや自転車ネットワークに配慮した「中野駅周辺自転車駐車場整備計画」を平成 29 年 1 月に策定した（以下「当初計画」という）。

当初計画策定以降、中野駅周辺では当初計画に基づき自転車駐車場の整備及び配置計画が進められている。また、中野駅周辺まちづくりに伴う仮設自転車駐車場の整備においても、将来計画を見据えて歩行者優先エリア外周部への配置を行っている。

今回、当初計画策定からおおむね 5 年が経過したことから、中野駅周辺の各まちづくりの進捗や社会情勢の変化等による自転車駐車場の利用実態を確認し、計画の進捗状況を踏まえた見直しの検討を行った結果、利用実態に変化がみられたことから、本整備計画の改定を行うこととする。

## 2. 自転車駐車場整備計画の基本的な考え方

### 1) 自転車駐車場整備計画の進め方

本整備計画は、自転車利用環境に係る区政の方針、総合的な計画及びまちづくり計画での位置付けや、自転車利用者の利便性（親子利用者や高齢者）なども考慮し、まちづくりの進捗に合わせて進めるものとする。

#### ◇ 新型コロナウイルス感染症の影響について

新型コロナウイルス感染症の拡大を契機として、テレワーク等の普及による外出率の変化や密閉・密集・密接を避けた移動手段の活用など、人々の生活様式に変化が生じている。

このような生活様式の変化により、中野駅周辺における人出の減少や鉄道・路線バスなどの公共交通の利用が減少するなど交通環境に影響が生じている。

その一方で、国や都は公共交通機関と併用する形で徒歩や自転車を推奨しており、感染対策の立場から自転車利用が増加していくことも考えられる。

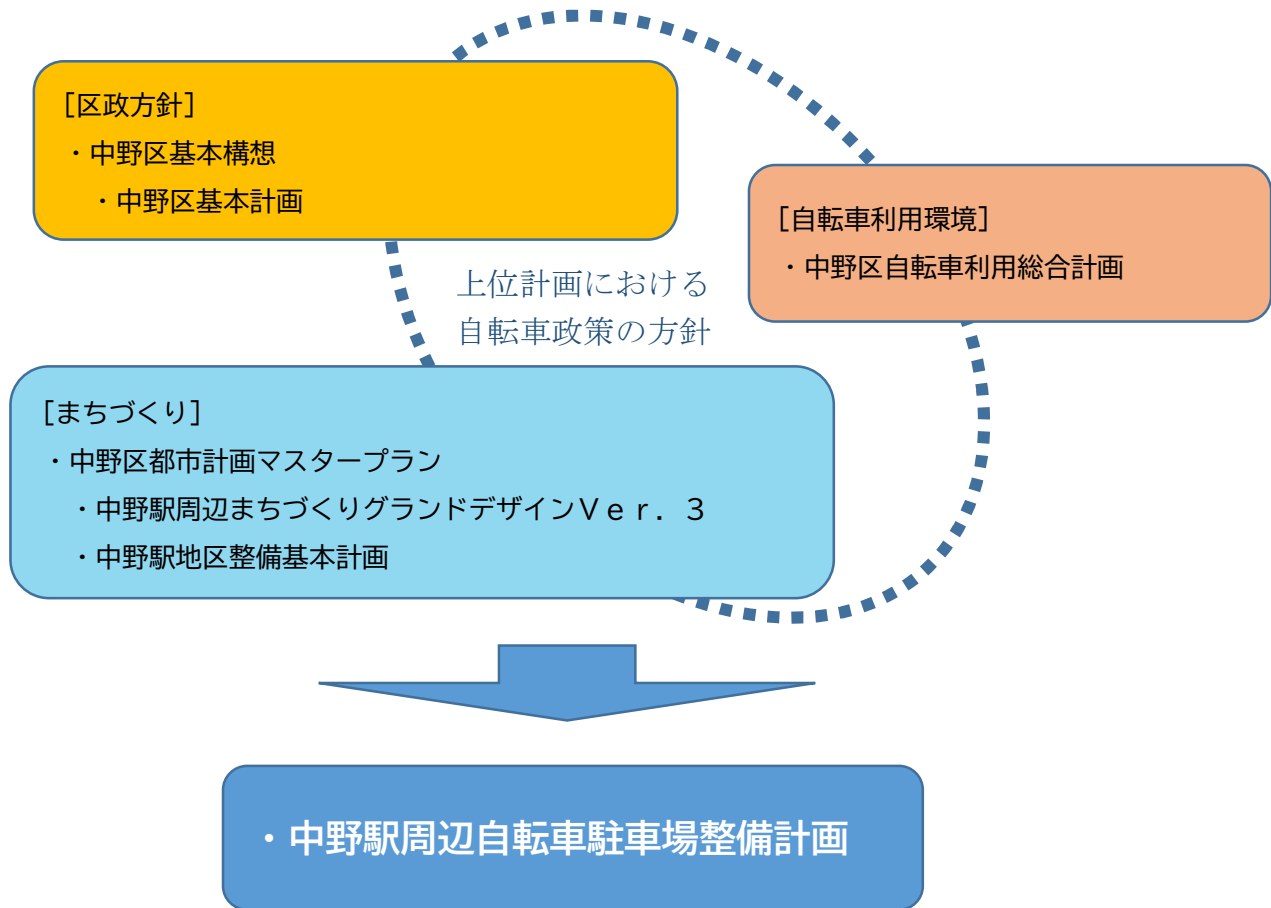
今後、生活様式の変化による交通手段の利用状況の変化に対応できるよう、引き続き情報収集を行っていく。

### 2) 本整備計画の期間

本整備計画の期間は当初計画策定の平成 29 年（2017 年）より概ね 10 年間とする。

### 3) 自転車駐車場整備計画の位置づけ

本整備計画は下図のとおり、上位計画に定められた中野駅周辺の自転車利用環境の方針を具体化し、自転車駐車場を整備するために定めるものである。



図ー1 計画の位置づけイメージ図

### 4) 上位計画における自転車利用環境の方針

#### ① 中野区基本構想（令和3年3月23日改定）〈抜粋〉

##### 2 10年後に目指すまちの姿

##### (4) 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまち

##### ○ 快適で魅力ある住環境をつくります

居心地が良く歩きたくなるまちなか、魅力ある公園、多様な移動環境などが整備され、快適で魅力ある住環境の形成が進んでいます。

② 中野区基本計画 (2021年度 ▶ 2025年度 (令和3年度~令和7年度))  
 (令和3年9月策定) <抜粋>

基本目標4 安全・安心で住み続けたいくなる持続可能なまち

政策18 快適で魅力ある住環境をつくる

施策50 誰もが利用しやすく、円滑に移動できる交通環境の整備

施策の方向性

- 区民の移動利便性の向上及び移動手段の改善に向け、区内の交通環境の整備を進めます。

主な取り組み

③適正な需要を踏まえた自転車駐車場の再編整備

安全な歩行空間や自転車走行空間を創出するため、各駅前の自転車駐車場の整備・誘導や運営管理・維持補修、放置規制区域における放置自転車対策を推進します。

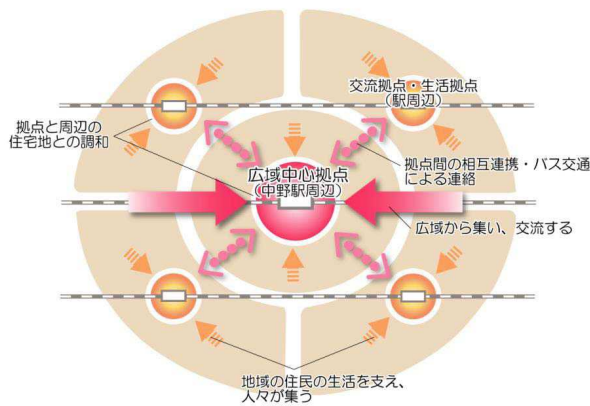
- (主な事業) ○自転車駐車場運営 ○駅周辺自転車駐車場再編整備事業  
 ○放置自転車対策

③ 中野区都市計画マスタープラン (平成21年4月策定) <抜粋>

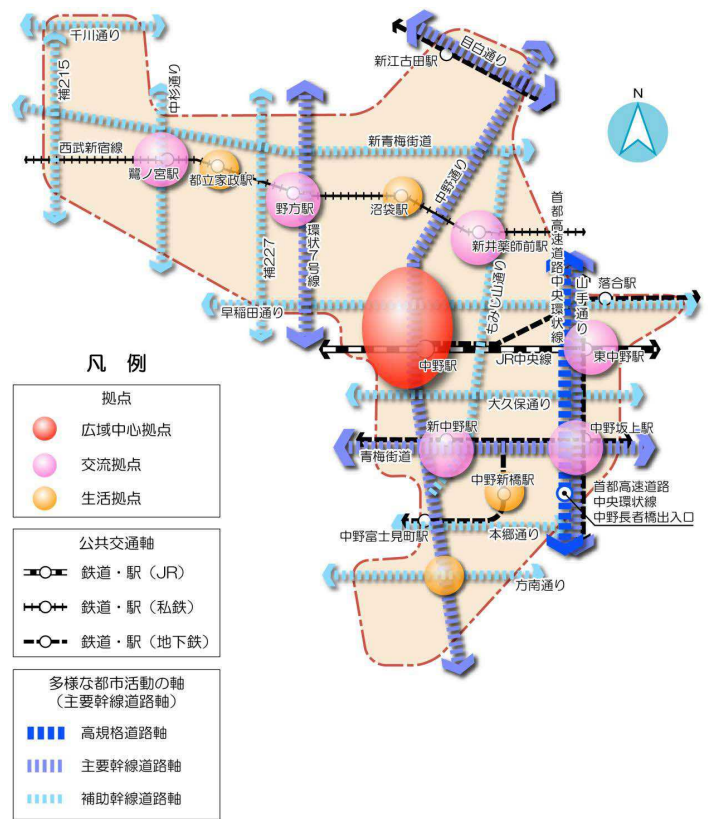
◆都市整備の目標

○広域中心拠点

- ・中野駅周辺一帯は、中野の玄関口の交通結節点としての機能を強化し、商業・業務、文化その他広域性を有する諸機能を集積することによって、ファッション、文化を発信する、みどり豊かで魅力・にぎわい・活気のある、東京の新たな複合拠点に育成・整備します。



拠点の役割分担・連携イメージ



基本的なまちの構造

(区民生活に活力と文化を生み出すインフラ)

## ◆都市基盤整備の基本方針

### —自転車及安全に利用できるみちづくり—

#### 〈自転車通行空間の整備〉

- 区民にとって最も身近で、かつ、地球環境にやさしい乗り物である自転車の安全な通行空間を確保するため、幹線道路などに自転車歩行車道、自転車走行レーンなどの設置をすすめます。
- 路上違法駐車防止や歩道上の違法看板などの撤去を図り、自転車利用者の安全な通行を確保します。

#### 〈自転車駐車場の整備〉

- 駅周辺の自転車駐車場の整備を推進するとともに、その整備と連携して自転車放置規制区域の指定をすすめ、放置自転車の撤去を強化します。
- 一定規模以上の商店、銀行などの新築・増設には、自転車駐車場の設置義務を徹底します。
- 商店街における自転車駐車スペースを確保するため、すきま的空間などの活用や共同自転車駐車場の設置を誘導し、放置自転車の解消を図ります。

## ④ 中野駅周辺まちづくりランドデザイン Ver.3（平成24年6月策定）〈抜粋〉

### ◆道路・交通ネットワーク

#### —歩行者優先・公共交通指向のまちづくり—

#### めざすべき姿

- ユニバーサルデザインによる道路環境が整備され、歩行者は安全で快適に通行している。
- 公共交通機関によるまちへのアクセスが向上している。
- 地域への主要な導入動線となる都市計画道路が整備され、道路ネットワークによってスムーズな交通環境となっている。
- 駐車施設の適切な配置により区域内の交通渋滞が緩和され、安全な道路環境となっている。





### ◆整備方針

基幹的な都市計画道路や地区内の主要道路を整備して道路ネットワークを構築するとともに、駅前広場の機能改善や駐車施設の適正配置によって交通の負荷や輻輳を軽減します。また、ユニバーサルデザインに基づいた水平・垂直方向の円滑な歩行者ネットワークを構築し、歩行者にやさしい空間の確保と地区間の回遊を促します。

#### 【道路】

- 地区内への誘導動線となる基幹的な都市計画道路の整備を計画的に進め、交通集中など課題のある交差点の改良を優先的に整備します。
- 区道では、補助220号線（もみじ山通り）の拡幅整備、221号線の本整備を進めます。
- 都道では、補助26号線（中野通り）、71号線（大久保通り）、74号線（早稲田通り）の整備や機能改善に向けた整備を働きかけます。
- 防災・安全性の向上のため、主要な道路空間の拡幅や無電柱化を進めます。
- 歩行者はもとより、自転車も安全に通行できる道路環境整備を進めます。
- ユニバーサルデザインに基づき、水平・垂直方向の円滑な移動ができるよう歩行者動線の整備を進めます。
- 環境性能の高い道路舗装など、環境に配慮した整備を行います。

### 【駐車場】

- 交通集中の分散や抑制に向け、自転車・自動車駐車場の適正な配置・供給を進めます。
- 移動制約者対応の駐車場や荷捌き駐車場などについては、地区内の適切な配置や共同運用など確保に向けた取り組みを行います。

### 【公共交通機関】

- 鉄道、バス、タクシーなど公共交通機関の利用促進と、スムーズな乗り換えに向けた交通結節機能の強化を図るため、駅及び駅前広場の整備を迅速かつ着実に進めます。
- 中野駅の路線組替えなど、利用者の利便性を高めるとともに鉄道輸送力の強化を図る対策を働きかけます。
- 中野駅全体のさらなるバリアフリー化や駅の安全対策を働きかけます。

## ⑤ 中野駅地区整備基本計画（平成 30 年 11 月改定）〈抜粋〉

- ◆ 中野駅周辺の主要動線の考え方  
—自転車ネットワーク・動線—

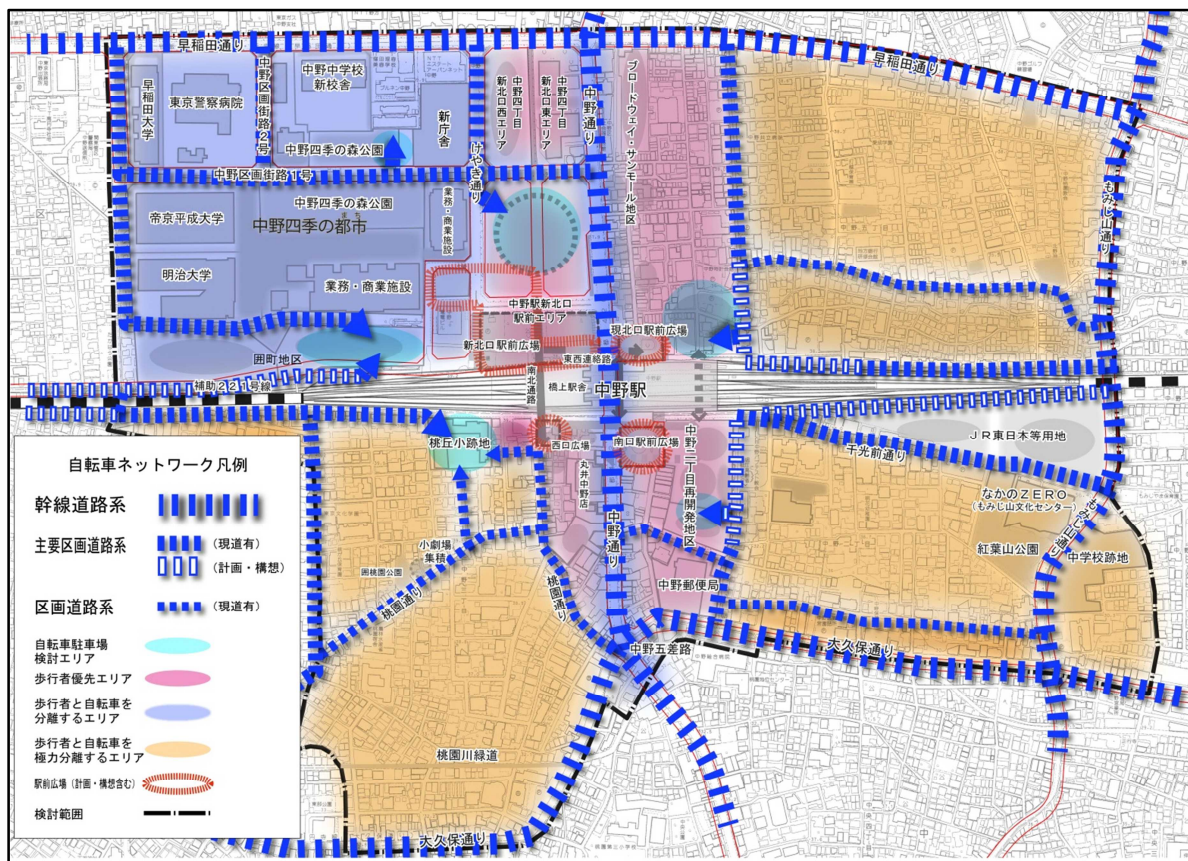
### 【自転車ネットワークの考え方】

#### ○交通アクセス・安全性の向上

- ・通過交通は中野通り、早稲田通り、大久保通り及びもみじ山通りの幹線道路を經由し、地区内の道路は經由しないよう誘導を図る。
- ・各丁目のエリア内において、自転車駐車場までの移動や地区内の移動を円滑に行えるよう東西及び南北方向の動線を拡充を図る。
- ・自転車走行位置の明示等により、歩行者・自動車との道路内の空間分離を図り、自転車走行環境を向上を図る。

#### ○自転車駐車場の配置

- ・中野駅周辺中心部の歩行者優先エリアの外周に、自転車ネットワークに配慮した自転車駐車場を分散して配置する。
- ・整備にあたっては、民間開発等との連携を図り、適切な公民の役割分担に配慮する。
- ・出入り口は歩行者動線との交差を避けるなど適切な位置に設けるよう配慮する。



自転車ネットワークの将来イメージ図

⑥ 中野区自転車利用総合計画(平成 29～38 年度)(平成 29 年 11 月改定)〈抜粋〉

(駅別の現状と施策)

【中野駅】

3. 現状の課題と施策

(2) 今後の対策の方向性

中野駅周辺のまちづくりにより区営自転車駐車場については暫定施設での運営が続いています。このため、再整備後の本設置までの期間は、一時的な放置自転車の増加が予測されることから、自転車駐車場利用案内、放置自転車の整理、放置防止指導、警告及び即時撤去などの放置自転車対策に重点を置いた施策を行っていきます。

① 自転車駐車場の整備・運営

現在、中野駅周辺まちづくりランドデザイン Ver.3 に基づき、駅周辺のまちづくりが行われています。中野駅地区整備基本計画では駅周辺の自転車、歩行者、自動車のネットワーク・動線の構築と、自転車駐車場は利用方向の動線に配慮しつつ、駅中心部の外縁へ整備する考え方にに基づき、各地区の再開発事業等の中で自転車駐車場の再配置を行う予定です。

このため、再整備後の駅周辺のまちの様子や自転車などの利用環境は大きく変わります。

今後の自転車駐車場の整備・運営にあたっては、これらの状況と自転車等駐車対策協議会での意見等も踏まえ、自転車駐車場の利用要件や駐車場の必要な整備台数を見直し、今後行われる各地区の整備検討会等で協議を進めていきます。

#### ⑦ 駅北側地区の整備

現在、中野駅地区第2期整備先行工事により自転車駐車場は暫定的に移設しています。また、中野四季の都市では自転車駐車場の整備を進めています。一方、駅北側地区では今後まちづくりが進むため、短期的には現在の施設の有効利用等により必要な駐車台数の確保を図り、中長期的には、中野四丁目新北口地区及び囲町地区の再開発計画の中で自転車駐車場を適正に配置します。

#### ⑧ 駅南側地区の整備

現在、中野駅南口地区の再開発事業が行われており、短期的には再開発事業の期間は事業の進展に併せて中野南自転車駐車場を仮移設しながら運営していきます。中長期的には、中野駅南口地区の再開発による自転車駐車場の本設置と、中野駅西口地区の再整備による新たな自転車駐車場整備を行う予定です。

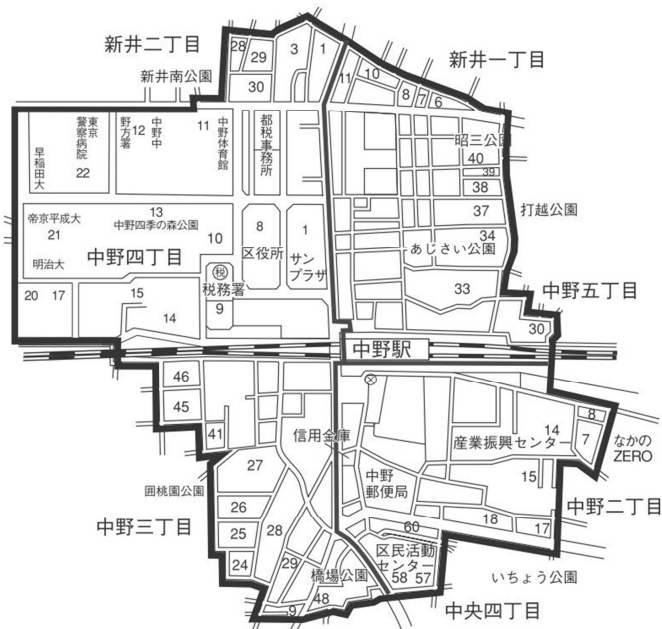
### 3. 放置自転車の状況及び自転車駐車場整備の対象区域

#### 1) 放置自転車の対策及び自転車駐車場整備の対象区域

中野区内の駅周辺では、昭和 50 年代に放置自転車が急増した。このため、区では昭和 61 年に「自転車駐車場条例」を制定し、自転車駐車場の整備を進めた。また、昭和 63 年には「自転車等放置防止条例」の制定および放置自転車の規制区域の設定を行い、放置自転車の撤去を開始した。

中野駅周辺においても、昭和 63 年 10 月に自転車等放置規制区域の指定を行い、暫定的な自転車駐車場を規制区域内に適宜整備するとともに、放置自転車の防止指導と公道等に放置されている自転車の撤去を行っている。

このことから、中野駅周辺における自転車等放置規制区域を、自転車駐車場整備の対象区域として設定する。



図－2 中野駅周辺の自転車等放置規制区域  
及び自転車駐車場整備の対象区域

#### 2) 放置自転車台数の推移

過去5年間の放置自転車台数は概ね 100～300 台程度で推移している。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
中野駅周辺放置自転車台数（台）	280	233	288	264	138

出典 駅前放置自転車実態調査（駅前放置自転車等の現況と対策）【東京都】より

表－1 放置自転車台数（過去 5 年間）

調査方法：各年 10 月中、晴天の平日のうち任意の一日、概ね午前 11 時頃の駅周辺における自転車の放置台数。



## 4. 過年度の自転車駐車場に係る整備及び利用の傾向

### 1) 配置及び収容台数

平成28年度から令和2年度の5年間に於いて、中野駅周辺の各まちづくりの進捗に伴い、自転車駐車場の廃止や整備を進めてきた。

また、本整備計画に基づく自転車駐車場として、中野四季の森公園地下自転車駐車場の整備が完了し、平成31年2月より供用開始している。

平成27年度と令和3年度を比較すると、中野駅周辺中心部の自転車駐車場の移転が進み、目標としている歩行者優先エリア外周部への分散配置が進んでいる。

収容台数は、自転車駐車場の利用実態に配慮しながら、将来整備台数に向けて徐々に減少の方向に進んでいる。

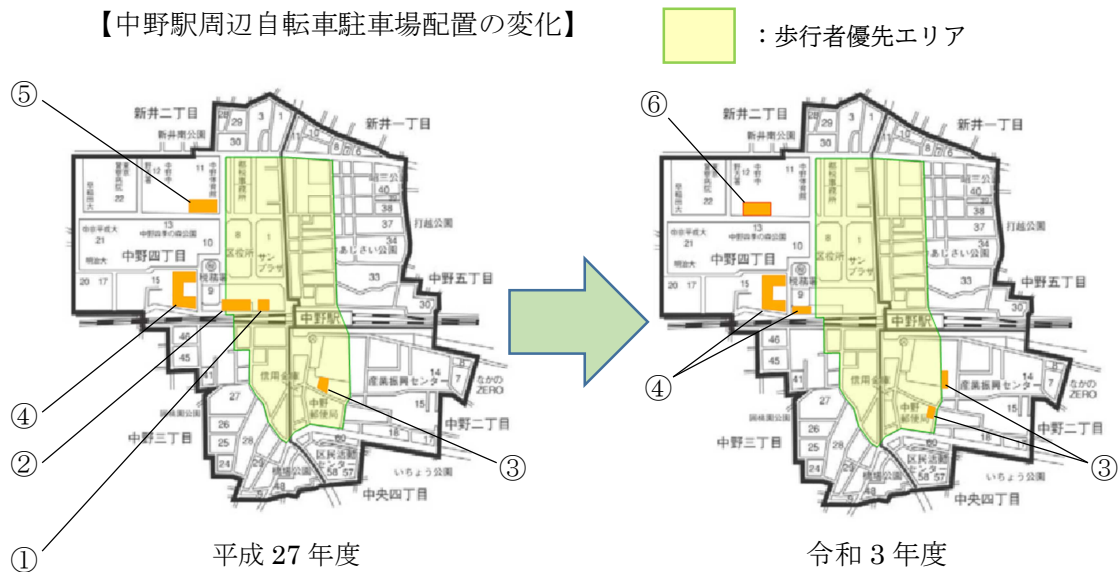


図-3 自転車駐車場配置の変化

名称	設置年月	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度 (平成31年度)	令和2年度	※令和3年4月 時点
①中野駅北口中央	昭和62年10月	3,436	1,800	1,800	廃止	-	-	-
②中野駅北口西	平成11年1月	1,211	廃止	-	-	-	-	-
③中野南	平成11年12月	1,300	1,300	1,120	1,120	700	700	700
④中野西	平成22年11月	665	1,300	1,300	1,300	1,300	1,300	2,280
⑤中野けやき通り	平成23年10月	833	1,800	1,800	1,800	1,800	1,550	廃止
⑥中野四季の森公園地下	平成31年2月				1,500	1,500	1,500	1,500
合計		7,445	6,200	6,020	5,720	5,300	5,050	4,480

(各年度の台数は年度末時点)

(台)

※平成27年度～令和2年度は、民間自転車駐車場約1,100台も見込んだ自転車駐車場の運用を行っていた。

表-2 自転車駐車場の収容台数

## 2) 利用の傾向

### ①利用件数の変化

平成28年度から令和2年度の5年間における、中野駅周辺自転車駐車場の利用件数は表-3のとおりであった。

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度
1日当たりの平均利用件数	5,725	5,670	5,752	4,457	3,978

出典 区営（有料制）自転車駐車場（駅別）利用率より算出

**表-3 1日当たりの自転車駐車場平均利用件数**

中野駅周辺の自転車駐車場の配置変更・収容台数の縮小に伴い、利用件数も同様に減少傾向となっている。一方、放置自転車台数は増加しておらず、中野駅周辺中心部の自転車駐車場は適正に利用されている。

なお、令和2年度における利用件数の減少は、新型コロナウイルスの影響によるテレワークの普及等による外出率減少など、社会情勢の変化が影響していると考えられる。

### ②方面別利用割合

平成30年パーソントリップ調査(以下「平成30年PT」という。)及び平成20年パーソントリップ調査(以下「平成20年PT」という。)による方面別利用割合は表-4のとおりであった。

	構成比率 (%)			
	北西	北東	南西	南東
平成30年PT	77.5	8.8	9.1	4.6
平成20年PT	65.3	11.0	14.0	9.7

北西：中野四丁目 北東：中野五丁目 南西：中野三丁目 南東：中野二丁目

**表-4 中野駅を端末とする自転車利用トリップ数の方面別割合**

平成20年PTと比較すると、北西方面に大幅な増加が見られる(+12.2%)。また、南西及び南東方面において減少傾向が見られる。

なお、令和2年度の定期利用契約者の方面別割合も平成30年PTと同様の傾向が見られている。

	構成比率 (%)			
	北西	北東	南西	南東
令和2年度中野駅周辺自転車駐車場定期利用契約者	79.1	8.8	6.4	5.7

**表-5 (参考) 令和2年度中野駅周辺自転車駐車場定期利用契約者の方面別割合**

## 5. 将来整備台数と方面別配分

### 1) 将来整備台数

当初計画では、平成 20 年 PT と将来人口推計に基づき、将来の自転車駐車場需要は、20 年後まで、おおむね 7,500 台で推移していくとしている。

中野駅周辺は、駅周辺中心部を歩行者優先とした公共交通指向のまちとなるよう、自転車駐車場の分散配置、駅前広場整備を進め、歩行者空間の安全性・快適性及びバス等の公共交通の利便性を向上させることとしている。

この考えに基づき、将来の自転車駐車場整備と合わせ、自転車駐車場の定期利用については、適正利用を誘導し、これらの取り組みにより、将来整備台数を約 6,000 台としている。

当初計画策定後、本計画に基づき、自転車駐車場の歩行者優先エリア外周部への分散配置や収容台数の縮小により、1 日当たりの自転車駐車場平均利用件数（表一3）は、目標整備台数の 6,000 台に近い数値となっており、おおむね将来目標の方向に進んでいる。

一方、放置自転車台数は、引き続き低い水準で推移しており（表一1）、適正な自転車駐車場利用が図られている。

このことから、今後も自転車駐車場の適正利用を進めるとともに、まちづくりの進捗や社会情勢の変化に伴う需要の変化を引き続き見極めるものとし、将来整備台数は、当初計画の約 6,000 台を継続する。

### 2) 方面別配分

平成 30 年 PT より、方面別の利用割合には大きな変化が生じている事がわかる。同様の変化は定期利用契約者にも顕れており、近年の傾向として計画に反映させる必要がある。

また、中野駅周辺の各まちづくり事業の進捗も考慮し、自転車駐車場台数の方面別配分について見直しを行った。

但し、北東方面（五丁目）は商店街が広がり細街路が多く、自転車の安全に通行できる環境でないことから、北西方面（四丁目）にまとめることとした。

	北西方面 (中野四丁目側)	北東方面 (中野五丁目側)	南西方面 (中野三丁目側)	南東方面 (中野二丁目側)	合計
方面別の割合 (%)	77.5	8.8	9.1	4.6	100.0
方面別の収容 台数 (台)	4,650	528	546	276	6,000
将来の方面別 配分 (台)	約 5,000	—	約 500	約 500	約 6,000

表一6 将来における自転車駐車場の方面別配分



## 6. 自転車駐車場の配置計画

### 1) 自転車駐車場の配置及び収容台数

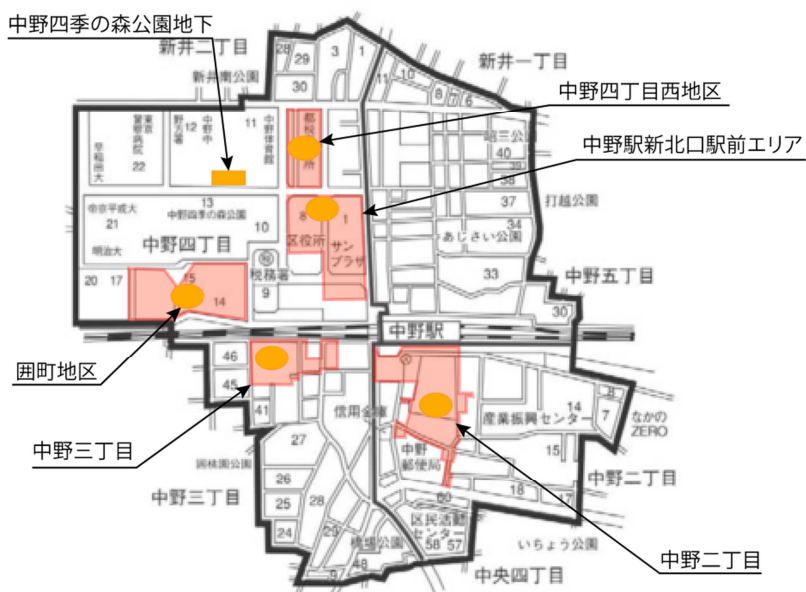
方面別割合の変化に対応した台数配分及び整備箇所について、中野駅周辺事業の進捗状況も含めて検討した結果、下記【 中野駅周辺自転車駐車場の配置計画 】のとおり見直しを行う。

なお、自転車駐車場の位置及び収容台数については、まちづくりの進捗に伴う需要の変化を見極めた上で、必要に応じて適宜見直しを行うものとする。

【 中野駅周辺自転車駐車場の配置計画 】

方面	位置	収容台数
北西（中野四丁目）	中野四季の森公園地下	約 1,500 台
	中野駅新北口駅前エリア (旧 区役所・サンプラザ地区)	約 1,500 台
	中野四丁目西地区	約 500 台
	囲町地区	約 1,500 台
南東（中野二丁目）	中野二丁目	約 500 台
南西（中野三丁目）	中野三丁目	約 500 台
	合計	約 6,000 台

表－7 将来の自転車駐車場の位置及び収容台数



図－4 将来の自転車駐車場の位置

## 2) 整備すべき自転車駐車場の概要

### (1) 中野四季の森公園地下自転車駐車場

- ① 整備箇所：中野区中野四丁目（中野四季の森公園内）
- ② 収容台数：約 1,500 台
- ③ 供用開始：平成 31 年（2019 年）2 月 1 日
- ④ 備考：構造 地下一層式、主にラックを配置（一部平置き）  
出入口 2 箇所（非常用出入口含む）

### (2) 中野駅新北口駅前エリア自転車駐車場（仮称）

- ① 整備箇所：中野区中野四丁目（中野駅新北口駅前エリア内）
- ② 収容台数：約 1,500 台
- ③ 供用開始時期：令和 11 年度（2029 年度）予定
- ④ 備考：中野駅新北口駅前エリア拠点施設整備事業に合せ、事業範囲内に整備予定

### (3) 囲町地区自転車駐車場（仮称）

- ① 整備箇所：中野区中野四丁目（囲町地区内）
- ② 収容台数：約 1,500 台
- ③ 供用開始時期：令和 7 年度（2025 年度）予定
- ④ 備考：囲町東地区第一種市街地再開発事業に合せ、再開発施設内に整備予定

### (4) 中野二丁目自転車駐車場（仮称）

- ① 整備箇所：中野区中野二丁目
- ② 収容台数：約 500 台
- ③ 供用開始時期：令和 8 年度（2026 年度）予定
- ④ 備考：中野二丁目地区第一種市街地再開発事業に合せ、再開発施設内に整備予定

### (5) 中野三丁目自転車駐車場（仮称）

- ① 整備箇所：中野区中野三丁目
- ② 収容台数：約 500 台
- ③ 供用開始時期：令和 6 年度（2024 年度）予定
- ④ 備考：区画整理事業に合せ、整備される拠点施設内に整備予定

### (6) 中野四丁目西自転車駐車場（仮称）

- ① 整備箇所：中野区中野四丁目（中野四丁目西地区内）
- ② 収容台数：約 500 台
- ③ 供用開始時期：未定
- ④ 備考：中野四丁目西地区の事業進捗に合せ、事業範囲内に整備予定

なお、(2)～(6)の自転車駐車場の構造形式、出入口の箇所数等については、各事業の中で調整していく。また、出入口の位置は歩行者動線との交錯を避けることに配慮するとともに、自転車駐車場へのアクセス及び自転車駐車場から中野駅へのアクセスが安全・快適に行えるよう配慮することとする。

## 7. その他

### 1) 自転車駐車場の管理体制

自転車駐車場の管理体制については、管理主体及び管理方法を含め、指定管理者制度等の活用を今後検討していく。また、自転車利用者の安全性及び利便性を考慮して、利用可能時間の設定や、利用形態を設定していく。

### 2) 中野駅周辺自転車走行空間の整備方針

中野駅周辺においては、中野四季の都市に整備された都市計画道路の歩道部や、けやき通りの車道部に良好な自転車走行空間を整備してきた。また、早稲田通りは東京都の「東京都自転車走行空間整備推進計画」の「優先整備区間」に位置付けられており、自転車が安全に走行できる自転車走行空間の整備が進められている。

これらの整備により、中野駅の北西方面は「中野駅地区整備基本計画（平成31年11月改定）」に示す自転車ネットワークの形成が進んでいる。

今後は、その他の地区に関しても同計画を踏まえ、自転車ネットワークの形成を目指し、整備を進めていく。

### 3) 自転車駐車場が整備されるまでの対応

今後、中野駅周辺のまちづくりが進み、現状の自転車駐車場の移転等が必要となった場合は、再整備される自転車駐車場が供用されるまでの間、自転車利用者の利便性及び安全性に配慮して、中野駅周辺の放置自転車が増加しないよう、まちづくり各事業者と協力し、仮整備を行い対応していく。

### 4) 自転車シェアリングへの対応

自転車シェアリングの普及に伴う自転車駐車場の利用状況及び利用者の需要等の実態を踏まえ、中野駅周辺の自転車駐車場運営において適宜対応していく。

### 5) 自転車駐車場適正利用誘導のための取り組み

中野駅周辺の自転車駐車場については、今後の放置自転車台数の推移や各自転車駐車場の利用状況を踏まえながら、本計画における配置及び収容台数で適切な運用が図れるよう、必要な取り組みを中野区自転車等駐車対策協議会等で検討していく。



## 中野駅周辺自転車駐車場整備計画（令和4年3月改定）

登録番号 3中ま中第684号

発行 令和4年（2022年）3月

中野区 まちづくり推進部 中野駅周辺まちづくり課  
都市基盤部 交通政策課

〒164-8501 東京都中野区中野4-8-1

中野駅周辺まちづくり課 中野駅周辺まちづくり担当

TEL 03-3228-8980 E-mail [nakanoekitiku@city.tokyo-nakano.lg.jp](mailto:nakanoekitiku@city.tokyo-nakano.lg.jp)

交通政策課 自転車対策係

TEL 03-3228-5561 E-mail [kotuseisaku@city.tokyo-nakano.lg.jp](mailto:kotuseisaku@city.tokyo-nakano.lg.jp)